

第14回日本少年野球フレッシュマン交流戦開催要項

- 目 的 栃木県支部の1年生に対するボーイズリーグのマナー教育と他チーム間の交流を図ることを目的とする
- 参加チーム 上記の目的に賛同するチームで、支部役員の承認をもって出場することができる

①県央宇都宮ボーイズ	②栃木さくらボーイズA	③那須・真岡連合ボーイズ
④鹿沼ボーイズ	⑤栃木ボーイズ	⑥大田原ボーイズ
⑦栃木さくらボーイズB	⑧佐野ボーイズ	⑨上三川ボーイズA
⑩上三川ボーイズB	⑪県外ボーイズ	⑫小山ボーイズ

以上12チーム
- 主 催 (公財) 日本少年野球連盟栃木県支部
- 後 援 報知新聞社
- 協 賛 (株) TSK
- 期 日 令和5年7月1～23日 決勝リーグは7月23日とする
- 試合球場 各チーム練習使用グラウンド等を使用する
- 参 加 費 15,000円
- 試 合
 - ①試合はリーグ戦(予選)、トーナメント戦(決勝)の7回戦とする。
試合成立の回数に関係なく110分とし、100分を過ぎて新しいイニングには入らない。
コールドゲームは5回以降7点差とする(4回10点は適用しない)
 - ※7回終了後、同点の場合は引き分けとする
 - ②審判は各チーム4名を出しあい、内1名は主審を出来る審判とする
基本的に当該チームが試合のない試合を担当する
 - ③各チームのBL-2審判の指導を仰ぎながら、実施する
父兄審判の育成も図る 決勝リーグも同様とする
 - ④シートノックは、5分間とする
- 開 会 式 行いません
- 試合方法

予選リーグ戦：予選12チームを4ブロックに分けリーグ戦を行う
(各ブロック毎に話し合いを行い、日時・球場を決定する)

決勝リーグ戦：順位決定戦を行う(1位ブロック/4位ブロック/7位ブロック/10位ブロック)
(予選ブロック同様、各ブロック毎に話し合いを行い、日時・球場を決定する)
- 閉 会 式 1位ブロック終了後、1～3位の表彰式を行う
- そ の 他
 - ① 決勝リーグのブロックは、予選リーグの結果の順位で決定する
 - ② 順位は、勝ち点、失点、得点差の順で決定する
勝ち点(勝ち=3点 引き分け=1点 負け=0点)
 - ③ 登録選手は、1日必ず出場させることとする(ケガしている選手はこの限りではない)
 - ④ 資格審査は、通常とおり行うものとする 又、アナウンスの放送も
 - ⑤ 登録用紙は、3部提出し初日終了後各チーム持ち帰る
 - ⑥ 背番号は付けることとする
 - ⑦ 試合球は各チーム2～3個出し合うこととする 後日に配布する
 - ⑧ グラウンド整備は、当該チームで行う(保護者協力OK)

★勝ちにとらわれず試合の喜びをあげ合わせ、トラブル無いようにすること★

- 試合規定 2023年公認野球規則並びに連盟特別規則・今大会規定による
投手の投球数は、1日間で70球とし、連続する2日間で105球までとする
又、投手の変化球はなしとし、万が一変化球を投げたと判断した時はボールとする
- 参加資格 連盟登録選手とする

組 合 せ

- 1、組合せのチーム同士(ブロック毎)で話し合いを行い、日・球場を決定する
- 2、審判は、試合がないチームから、4名出し合い行う
- 3、試合順序は、グラウンド確保チームにより変更あります
- 4、第3試合のベンチの移動は行わない

○予選リーグ戦【第1節】

ブロック	日	グラウンド	試合チーム			グラウンド責任者
			第1試合	第2試合	第3試合	
A	7/1	石那田グラウンド	県央vsさくらA	那・真vsさくらA	那・真vs県央	県央宇都宮ボーイズ
B	7/2	サンピア野球場	鹿沼vs栃木	大田原vs栃木	大田原vs鹿沼	鹿沼ボーイズ
C	7/1	大桶野球場	さくらBvs佐野	上三川vs佐野	上三川AvsさくらB	栃木さくらボーイズB
D	7/1	KDDI小山	小山vs上三川B	県外vs上三川B	県外vs小山	小山ボーイズ

○予選リーグ戦【第2節】

ブロック	日	グラウンド	試合チーム			グラウンド責任者
			第1試合	第2試合	第3試合	
A	7/9	県営C球場	鹿沼vs県央	さくらBvs県央	さくらBvs鹿沼	鹿沼ボーイズ
B	7/8	大桶野球場	さくらAvs上三川B	栃木vs上三川B	栃木vsさくらA	栃木さくらボーイズA
C	7/8	佐野市営本球場	佐野vs那・真	県外vs那・真	県外vs佐野	佐野ボーイズ
D	7/8	宇田川野球場	大田原vs上三川A	小山vs上三川A	小山vs大田原	大田原ボーイズ

○決勝リーグ戦

順位 ブロック	日	グラウンド	試合チーム			グラウンド責任者
			第1試合	第2試合	第3試合	
1位	###	県営C球場				
4位						
7位						
10位						

【中学生投手(1年生)の投球制限ガイドライン】

- 1、1日最大70球とし、連続する2日間で105球以内とする
連続する2日間で70球を超えた場合は、3日目は投球を禁止する
又、3連投(連続する3日間)する場合は1日の投球数を35球以内とし、4連投は禁止す。
- 2、大会中は1日70球投球後、翌日投球を休めば3日目70球の投球を可とする
- 3、1～2を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了まで投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- 4、今大会は、選手の健康を考慮し、変化球は禁止とする

(投手のガイドライン抜粋)